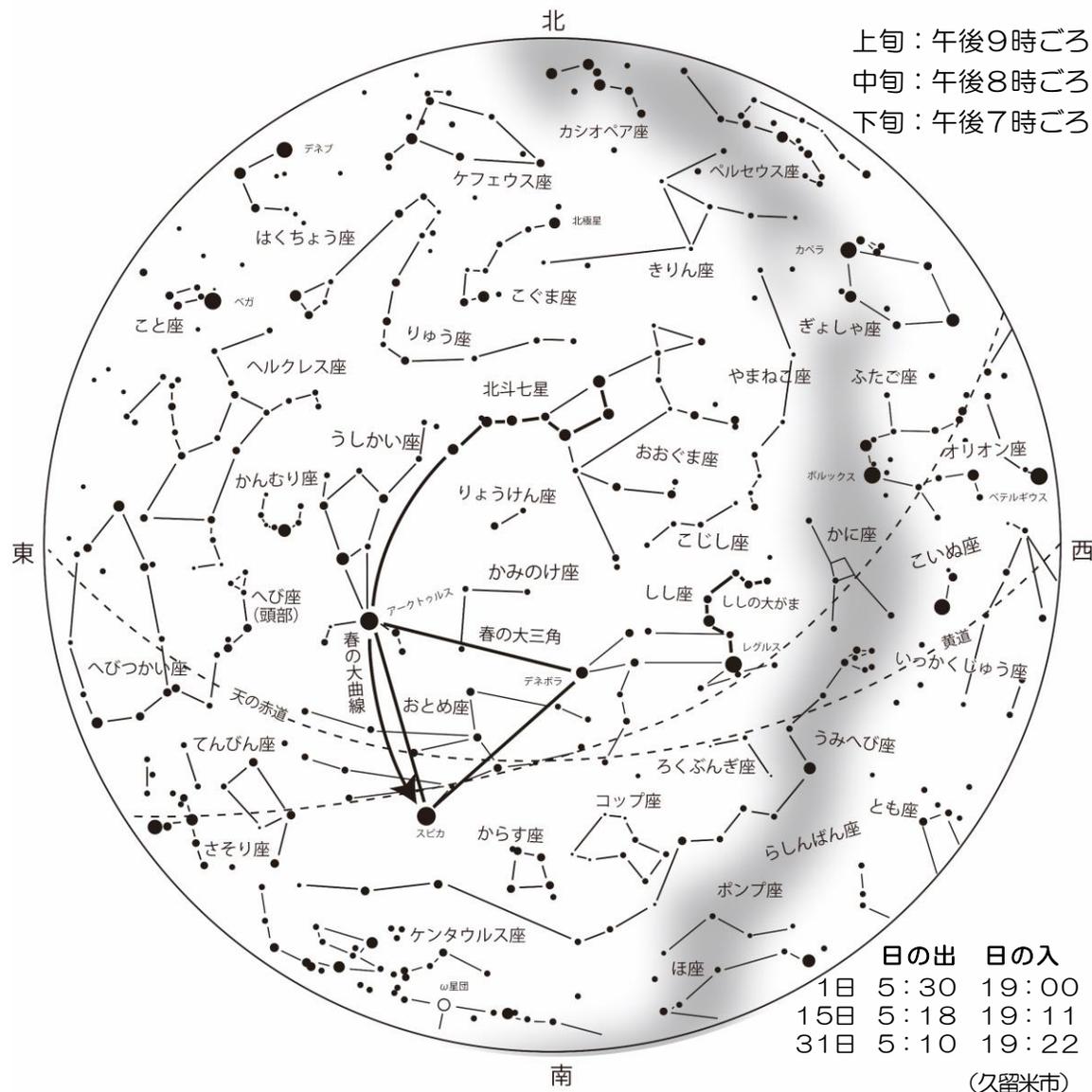


# 令和4年 5月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



## ★5月の星空案内

今月の星空では、春の星座たちを探ることができます。まず北の空で輝く、7つの星がつくる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を見つけましょう。北斗七星が1つの星座だと思っている方も多いと思いますが、北斗七星は、**おおぐま座**のしっぽの部分に位置しています。春の星座たちは、この北斗七星を目印に見つけることができます。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手のカーブを南へのばしていくと、オレンジ色に輝くうしかい座の1等星アークトゥルスが見つかります。うしかい座は、アークトゥルスから「ネクタイ」をひっくり返したような星の並びが目印です。北斗七星の持ち手のカーブをさらにのばしていくと、白っぽく輝く**おとめ座**の1等星スピカが見つかります。おとめ座は、スピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。北斗七星からアークトゥルスを通してスピカまでのカーブを『春の大曲線』といいます。『春の大曲線』は、春の星座探しのよい案内役になります。もう1つ春の星座探しの案内役となるのがアークトゥルスとスピカ、2等星の**デネボラ**を結んでできる三角形『春の大三角』です。デネボラは「ししのしっぽ」という意味で、ここにはしし座があります。しし座は、デネボラの西にある1等星レグルスから「?マーク」をひっくり返したような星の並び『ししの大鎌』を目印に見つけてもよいでしょう。

暖かくなり、夜空を見上げて星座たちを探すのにはよい季節となりました。ぜひ、この機会に『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に春の星座たちを探してみてください。

### 【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星(3.3等前後):おうし座付近 日の入り後、西北西の低空で輝く。(上旬～中旬)
- ☆金星(-4.0等前後):うお座付近 日の出前、東の低空でひときわ明るく輝く。
- ☆火星(0.8等前後):みずがめ→ふたご座付近 日の出前、東南東の空で輝く。
- ☆木星(-2.2等前後):みずがめ座付近 日の出前、東南東の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.8等前後):やぎ座付近 日の出前、南南東の空で輝く。

### 注目の天文現象(5月) ～4つの惑星(土星・火星・木星・金星)を探してみよう!!～

今月、夜明け前には4つの惑星(土星、火星、木星、金星)が見えています。この4つの惑星を毎日観察していくと、日に日に惑星の位置が移動し、位置関係が変化していきます。5月1日午前5時頃には、-4.1等でひときわ明るく輝く金星と-2.1等で明るく輝く木星は最接近します。この後、日に日に金星は東へと移動し、木星から離れていきますが5月上旬は比較的近くにあるため、金星と木星を見つけやすいでしょう。この金星と木星の接近は、東の低空で見られるため、東の方角が開けた場所で探してみてください。このとき、土星は0.8等、火星は0.9等の明るさで、夜明け前の白み始める空では、探すのが難しいかもしれませんが、5月下旬には4つの惑星を容易に探すことができます。5月22日には下弦前の月が土星の近くに見えます。その後、月は欠けていきながら東へと移動し、25日には火星と木星の近くに見えます。そして月はさらに東へと移動し、27日には細くなった月が金星の近くに見えています。5月下旬は、ぜひ月を目印に4つの惑星を探してみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	日	● 新月 (05:28) 金星と木星が最接近 (03:42)	16	月	○ 満月 (13:14)
5	木	立夏 (21:26) 【暦の上では夏を迎える】	23	月	☾ 下弦 (03:43)
9	月	☾ 上弦 (09:21)	30	月	● 新月 (20:30)